

b-2 松尾平・早月尾根のタテヤマスギ



写真 T-006
つるぎ だいおうすぎ
剣の大王杉

2003年5月、富山県のハイカーによって確認された大杉。剣岳の登山基地として有名な馬場島から、白萩川を遡り、松尾平に登る。平には立山杉の巨杉が何本もあり、その一番奥にあるのが大王杉。地上3~4mで多数に分岐する樹形。正面から見ると幹周12mはありそうだが、主幹は平たく、真横から見ると細い。これは、古株更新によるため。

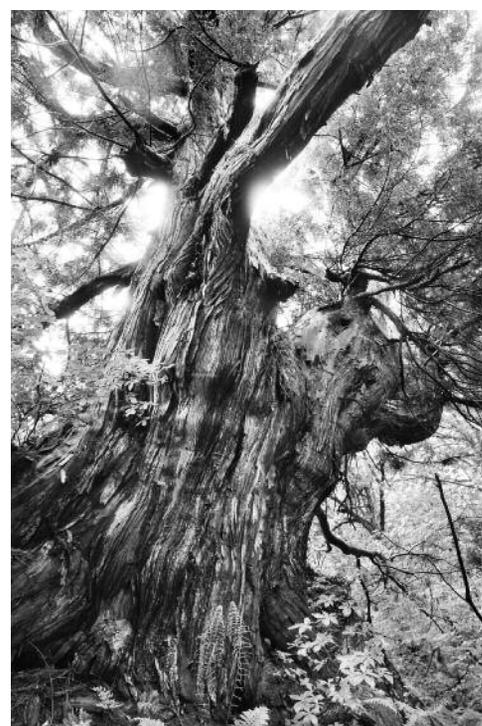


◀写真 T-007
まつおだいら ろうさん
松尾平の老杉

松尾平の入口に立つ老樹。古株更新途中の様子を観察できる貴重な巨木。古株は残っていて、上部に着生したタテヤマスギが成長を始め、根が幹を形成する様子が観察できる。

写真 T-009▶
まつおだいら ほのおすぎ
松尾平の炎杉

松尾平の中心部、伏条大杉の近くに立つ。





▲写真 T-008

まつおだいら ふくじょうおおすぎ
松尾平の伏条大杉

松尾平の中心部に立つ。根元で伏条幹が立上がる樹形で、画面に映っていないが、右手にも伏条幹が2本ある。



◀写真 T-010

しらはぎ
白萩大杉

松尾平の崖淵に白萩川を望むように立つ。古株更新で、実生伏条幹が複雑に伸びる樹形をしている。



▲写真 T-011
はやつきおおすぎ
早月大杉

剣岳の登山ルート早月尾根、標高1,060mにある怪樹。古株更新で形成された樹形で、背後に回ると古株の跡が空洞化している(右写真)。右に斜上する幹は古株の幹で、先端は枯れている。



写真 T-012
はやつきふくじょうすぎ
早月伏条杉

早月尾根の標高1,030mの登山道脇にある。古株更新の樹形で、主幹は数本の幹が分岐し、根元より伏条幹が這うように出て、大小3本の幹が立上がる異様な樹形をしている。

尾根の1,000m付近から順に4本の巨木があり、下から「早月老杉」「早月伏条杉」「早月張出し杉」「早月大杉」がある。